

紫華栄の効果と特性

「自然治癒力を高める」という点に着目して開発されたのが、紫根を主成分とする「紫華栄」です。対症療法的に使うほかに、予防薬、保健薬として、ふだんから、身体のバランスを整える自然薬として利用している人が多いのもこの薬の特長です。

こんな症状のときに

より頑固な皮膚病に効果があ
ります。

① 過労

気・血の流れをよくして疲労感をとりのぞきます。

② 風邪

身体を温め、体力をつけます。消炎・解毒作用によって風邪の治りを早めます。

③ 膀胱炎

疲れをとり、身体を温めて尿の出をよくします。その結果、炎症が抑えられます。

④ 皮膚炎

消炎、解毒、滋養強壮作用に

病気というほどではないが、ちよつと不安な時

● ストレスによる神経の疲れで不眠になったら
就寝前に2包飲むと、ぐっすり眠れます。

● 寒気がする、頭痛など、また風邪かなと思つたら
温かいお湯に「松寿仙」をいれて、紫華栄2包を2時間おきに服用します。

● 病気というほどではないが、疲れやすかったり、朝の目ざめが悪かった時は朝、夕に1包と、寝る前に「ササイサン」1包を加えて服用します。

● ニキビ、シミ、イボなどお肌にトラブルが生じたら
紫華栄を1回1包、1日3回服用します。ストレスによる吹き出物に効果があります。

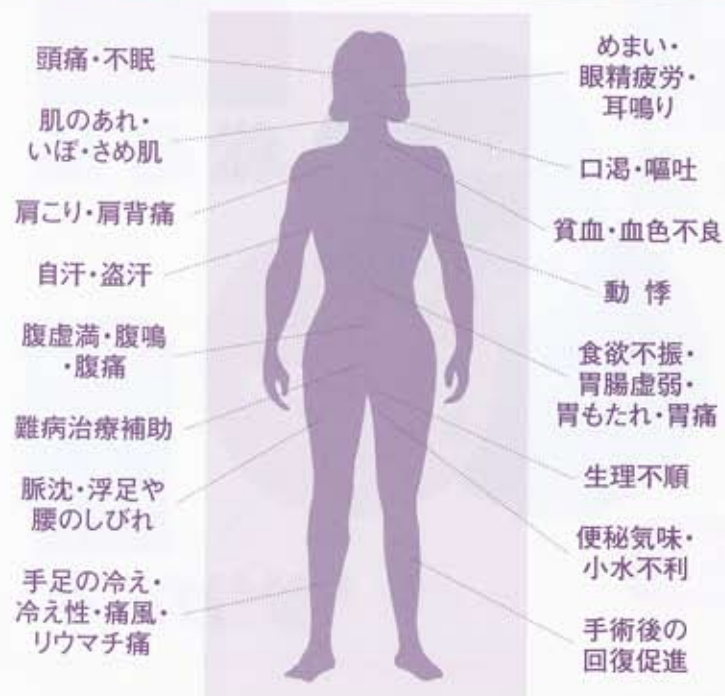
● 冷え性の人

特に次のような人。①便秘がみで、出てもウサギのような便しかでない②小水がすつきりでない。慢性の膀胱炎③手足がほてる④布団から足を出して寝る等には、紫華栄1回1包を1日2回服用します。

● 二日酔いの予防に
お酒を飲む30分前に「ササイサン」1包と、紫華栄1包を一緒に飲んでおきます。飲食後にも飲むとさらに効果的です。

● 打ち身や捻挫、虫刺されには

紫華栄の構成生薬から考えられる適応効果



1回2包を1時間ごとに6回服用しておくと後が楽です。紫華栄の飲み方はいろいろありますが、基本的には1回1包、

1日3回、食前または食間の空腹時にお湯などで飲みます。症状によって1回2〜3包を、1日数回服用します。

紫華栄は安全な薬

薬を服用するに当たって、多くの方が不安に思うことは、副作用をはじめとする安全性です。結論から先に言えば、「紫華栄」は副作用のない、安全な薬といえます。

動物実験において、ラットに人の一回量の三百倍に当たる量を飲ませても死亡例は一例もありませんでした。また、妊娠したラットに対し、胎児の器官形成期に当たる五日目から十二日目にかけ人の一日量の百倍に当たる量を毎日飲ませた場合も、親、仔ともに何の影響もみられませんでした。

また、胃との関係も心配りません。胃を荒らすようなものは非薬されていませんので、胃への影響はありません。

「紫華栄」にはニンジンエキスが配合されているため、続けて服用すると血圧に影響があるのでは、といった声も聞かれますが、これも問題はなりません。